

平成29年2月吉日

会員各位

尼崎経営者協会
尼崎雇用対策協議会

平成29年度

監督者研修会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、わが国の経済情勢は、生産などに持ち直しの傾向があり、雇用についても買い手市場から売り手市場へ移行しており、景気も少しずつ回復してきました。ただ、今後の景気に対する見通しは海外情勢などの影響もあり不透明な状況です。

企業を取り巻く環境も雇用の多様化等人件費コストの縮小が求められ、また、国際化、情報化の進展により、構造改革・業務革新が急務となっております。

それには、根幹になる第一線監督者(リーダー)の教育訓練による能力向上、レベルアップを図っていくことが必要ですし、部下の育成、職場の活性化、改善活動等を一段と推進することが求められております。

当協会では昭和55年から監督者研修会を開始し昭和56年度より参加者を年間登録方式で実施し、歴史と伝統あるこの監督者研修会は毎年高い評価を得ております。この研修会は年間を通して体系的な研修を実施しており、監督者としての能力アップ、自己革新を図っていただくには最適な内容となっております。また、この研修会は単に講師の話聞くだけでなく、体験実習・事例発表・グループ討議・企業見学会・各社間の情報交換・ビデオによる各種手法・研究等、実践的な方法で実施いたします。

従って、その効果は非常に大きく、これまでに参加した方々から『監督者としての役割(問題意識が強くなった』『問題解決手法がうまく使えるようになった』『他社との情報交換がよかった』『宿泊研修では一段と問題点を掘り下げて話し合いができた』『非常に実践的で仕事の役に立った』等の感想が寄せられています。

今年度は一層その内容と運営を充実し、参加会社との密接な連携を取りながら研修を進めていく予定ですのでご多用とは存じますが、ぜひとも、貴社の監督者を多数ご派遣いただきますようお願い申し上げます。第一線監督者の任務と役割を学び、育成して頂くためにぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

平成29年度監督者研修会要綱

《 1. 目 的 》

第一線監督者相互の啓発研修により監督能力の向上をはかり、企業の生産性及び品質向上を目指す。

《 2. 期 間 》

平成29年5月～平成30年3月

《 3. 開催について 》

①月に1回の研修会を実施。

1日研修 — 10回（内1回は兵庫県職場リーダー研修大会に参加）

宿泊研修〔1泊2日〕 — 1回（8月に実施）

計11回開催（12日間）

②開催は原則として別紙スケジュールにより実施。

（但し会場等の都合により変更することがあります）

③1日研修の時間は9時～17時までとする。

《 4. 対 象（参加）者 》

①第一線監督者（組長・班長・職長・職場の第一線リーダー等）で直接部下を指揮監督する者を中心とする。（監督者候補でも可）また、組織の中で直接部下を持たず状況に応じダイナミックに関係者に働きかけ成果をあげることを期待されているリーダーも当然研修対象者である。

②研修会の参加（登録）は、原則として年間続けて同一人が参加するものとする。但し、やむを得ず続けて参加できない場合はメンバーの変更を認めるが、その場合は企業内で参加者の引き継ぎを充分行うことを前提とする。

《 5. 運 営 方 法 》

①参加者を8名程度のグループに分ける。そのグループは原則として年間同一とする。グループには1人の幹事をおく。

②研修会は年間計画に基づき幹事が中心となり自主的に運営する。

③研修期間中、随時事前学習・事後学習を取り入れる。

④必要に応じてスライド・ビデオ・テキスト・資料等を使用し、追加講義を行う。

《 6 . 研 修 内 容 》

- ①監督者の基本職務の理解
- ②監督者職務の具体的なすすめ方についての理解
 - ・ 労務管理的事項（部下育成、よい人間関係の確立、安全衛生、関係法令）
 - ・ 生産管理的事項（仕事の管理、仕事の改善、創造力の発揮）
- ③職場活性化の考え方と方法についての理解、人間関係の改善、小集団活動の推進、職場問題の解決推進等
- ④監督者の自己啓発の課題の設定と推進
（参加者の年間目標の設定と目標実現への取り組み）
- ⑤専任講師による一貫性のある体系的な指導

《 7 . 講 師 》

産業教育トレーナー

元三菱電機(株)系統変電・交通システム事業所 教育・研修参事
尼崎経営者協会 専任講師 水 口 健 三 氏

《 8 . そ の 他 》

- ① 1年間(12回)の内8回以上出席された方には修了証を交付致します。
〔宿泊研修は2回としてカウントします〕
- ②研修会の案内は、各研修会ごとに各社連絡担当者宛に送付致します。
- ③なお、年間参加料とは別に特別な行事を行う時は、随時に特別会費を徴収することがありますので、ご承知おきください。

以 上

平成29年度

監督者研修会年間スケジュール

回	実施日	テーマ	研修内容	研修方法	
1	H29 5/17 (水) 501室	「今、監督者に求められているものは何か」 <i>監督者の基本的な役割と資格要件の理解</i>	①企業をとりまく経済、社会環境の理解 ②監督者に求められる使命と役割の理解 ③これからの時代に求められている監督者の課題についての理解 ④問題解決の考え方の理解 ⑤会議・討議のすすめかたの理解 ⑥参加者それぞれの年間目標の設定	開 講 挨 拶 講 義 ビ デ オ 研 修 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議 各 社 情 報 交 換 年 間 目 標 作 成	1日コース
2	6/14 (水) 502室	監督者養成講座 「部下を上手に育てるために監督者は何をなすべきか」 <i>部下育成の基本の理解</i>	特別研修 ①部下育成の基本的な考え方の理解 ②効果的な部下育成のすすめ方の理解 ③段階的な問題解決の考え方の理解	講 義 ビ デ オ 研 修 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1日コース
3	7/12 (水) 502室	「生き生きとした職場作りのため監督者は何をすべきか」 <i>職場活性化の考え方とすすめ方の理解</i>	①職場活性化の本質の理解 ②効果的な職場活性化の進め方についての理解 ③職場活性化推進上の問題点の探求と解決策の理解	経 営 者 講 義 講 義 ビ デ オ 研 修 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1日コース
4	8月 上旬 予定	「効果的な問題解決のため監督者は何をなすべきか」 <i>創造力発揮の考え方と方法の理解</i>	①職場における改善活動推進についての考え方と方法の理解 ②段階的な問題解決のすすめ方の実践についての理解 ③プレゼンテーション研修	講 義 個 人 演 習 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議 体 験 学 習 ・ 実 習 各 社 情 報 交 換 (1泊2日)	宿泊コース
5	9/20 (水) 502室	「マナーを打ち破り改善活動を推進するため監督者は何をなすべきか」 <i>改善活動の要点と進め方の理解</i>	①部下に対する問題意識の醸成についての理解 ②分析的手法の活用についての理解 ③改善活動の効果的な推進についての理解 (問題解決のすすめ方の理解)	優 良 事 業 所 見 学 (事例発表) 講 義 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1日コース

回	実施日	テーマ	研修内容	研修方法	
6	10/17 (火) 502 室	「効率よく仕事をすすめるために監督者に求められるものは何か」 科学的な仕事の進め方の理解	①計画、指令、統制の仕方の理解 ②調整の仕方の理解 ③管理サイクルにおける監督者と部下の係り合いの理解 ④管理サイクルの中での問題解決の理解	講 義 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1 日 コース
7	11/15 (水) 502 室	監督者養成講座 「職場においてよい人間関係を樹立するため監督者は何をなすべきか」 人間関係問題の基本の理解	特別研修 ①人間関係問題の本質の理解 ②部下理解の考え方の理解 ③部下の動機づけについての理解 ④よい態度の啓発についての理解 ⑤人間関係問題の解決の仕方の理解	講 義 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1 日 コース
8	12/6 (水) 502 室	安全衛生研修会 「安全で快適な職場の実現を目指そう」 安全・衛生管理の基本の理解	①災害を防止し、安全を確保するため監督者は何を考え、どう行動すべきかを研修する ②問題解決のすすめ方の理解	講 義 ビ デ オ 研 修 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議 各 社 情 報 交 換	1 日 コース
9	H30 1/17 (水) 502 室	「明るい職場づくりのため監督者は何をすべきか」 監督者をとりまく関係法令の理解	①労務管理その他労働に関する一般常識の理解 ②労務管理上の問題解決の仕方の理解	講 義 ビ デ オ 研 修 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議	1 日 コース
10	2 月 中 旬 予 定	兵庫県職場リーダー研修大会 (予定)	兵庫県職場リーダー研修大会に参加 ①テーマごとの分科会にわかれて研修 ②県下各地区参加者との情報交換、啓発と交流をおこなう	講 義 グ ル ー プ 討 議 全 体 討 議 レ ポ ー ト 提 出	1 日 コース
11	3/7 (水) 502 室	「たゆまぬ挑戦をつづける監督者となるために」 自己啓発とリーダーシップのあり方についての理解	①1年間の研修の反省 ②年間の自己目標達成状況の検討 ③リーダーシップのあり方について ④今後の自己啓発課題と決意のとりまとめと発表 ⑤年度研修のまとめ	特 別 講 義 講 事 例 発 表 個 人 作 業 式 抄 修 了 講 授	1 日 コース